

ボルグワーナー、フォーブス誌の 「世界で最も女性に優しい企業」ランキングに選出

- フォーブス誌が社内外の女性支援をリードする企業を表彰
- ボルグワーナー、300社中103位にランクイン

革新的で持続可能なモビリティソリューションを自動車業界に提供するボルグワーナー(本社:アメリカ合衆国ミシガン州アーバンヒルズ、社長兼最高経営責任者:フレデリック・リサルド/Frédéric B.Lissalde)は、社内外で女性を支援する取り組みが評価され、フォーブス誌の「世界で最も女性に優しい企業」ランキングに選出されたことを発表しました。ボルグワーナーは、同賞設立初年度に、各業界を代表する300社の受賞企業のうち、103位にランクインしました。

ボルグワーナーは、「女性管理職登用推進」(Women in Leadership, WIL)プログラムや「女性専用科学・エンジニアリング研修」(Women in Science and Engineering, WISE)など、女性を支援する複数の重要なプログラムを実施しています。WILプログラムの目的は、女性が一堂に会し、互いにアイデアを共有するなどして社内外の女性ネットワークを拡大する機会を提供することです。WISEは、STEM分野で働く女性社員の個人および専門領域での成長を支援することを目的としています。

これらの実施済みプログラムに加え、ボルグワーナーの経営陣は、全社的にDEI(多様性、公平性、受容性)を重視することをグローバルに徹底しています。同社の2021年度版サステナビリティレポートで報告されているように、女性社員は男性社員と比較して98.7%の報酬を得ており、女性比率は取締役で22.2%、戦略取締役で23.1%、管理職で14.6%となっています。

スタティスタ(Statista)社がまとめた企業のリストは、40カ国、85,000人の女性を対象にした調査結果を反映しています。調査はすべて匿名で行われ、参加者が自分の意見を率直に述べられるよう配慮されています。回答者には、性差に関するいくつかの基準における雇用主の取り組みと、自分の雇用主を他人に推薦したいかどうかを評価してもらうと同時に、それぞれの業界の他の雇用主についても評価してもらいました。さらには性差解消に関連する各企業の企業責任、マーケティングキャンペーンや社会の認知度といった基準でも判断してもらいました。最終的には、最も多くの推薦を受け、最も性差の少ない取締役会や幹部構成を誇る300社をランク付けしました。

ボルグワーナー取締役副社長兼最高人事責任者のフェレシア・プライヤーは、「フォースからこのような評価を受け、ボルグワーナーが女性を積極的に受け入れる全米のトップ企業の仲間入りができたことを大変誇りに思います。多様性、公平性および受容性への取り組みを通じ、女性に権限を移譲し、支援する環境づくりを大きく前進させてきました。女性が自身の存在価値を実感し、心から働きたいと思う職場であることを誇りに思います」と述べています。

全企業ランキングは以下の URL でご確認くださいませ:

<https://www.forbes.com/female-friendly-companies/#5a688e8264ac>

ボルグワーナーについて

ボルグワーナー (NYSE: BWA) は、自動車市場に革新的で持続可能なモビリティソリューションを提供する世界有数の企業です。OEM 向け純正品で培ったノウハウを活かし、グローバルアフターマーケット市場にもトップクラスの製品やサービスソリューションを提供しています。世界 22 カ国 96 カ所に生産・開発拠点をもち、全世界でおよそ 50,000 人の従業員を雇用しています。詳細については、borgwarner.com をご覧ください。

本プレスリリース(以下、本「リリース」)に記載された内容には、経営陣の現在の見通し、期待事項、試算、推定に基づく、1995 年米国私募証券訴訟改革法で想定された将来予測に関する記述が含まれている場合があります。「見込む」、「考える」、「継続する」、「可能性がある」、「目的とした」、「影響」、「試算する」、「評価する」、「期待する」、「予測する」、「目標」、「指針」、「取り組み」、「意図する」、「場合がある」、「見通し」、「計画する」、「潜在的」、「予見する」、「推定する」、「追求する」、「目指す」、「すべきである」、「目標とする」、「の場合」、「でしょう」、「かもしれない」などの文言、その変化形および同様の表現は、かかる将来予測に関する記述であることを意図しています。さらに、歴史的事実に関する記述を除く、本リリースに含まれる、または言及する形で盛り込まれた当社の財務状況、事業戦略、当該戦略を実施するための手段などに関して、将来起きる、または起きる場合があると当社が期待する、または見込むあらゆる記述は、将来予測に関する記述です。その例として、業務の変更、競争上の強み、目標、当社事業および業務の拡大と成長、計画、将来の成功に関する言及などがあります。当社の 2020 年 12 月期の Form 10-K 年次報告書(以下、「Form 10-K」)の第 7 項「重要な会計方針 (Critical Accounting Policies)」で記述されたものをはじめとする会計上の試算は、本質的に将来予測です。すべての将来予測に関する記述は、歴史的な動向、現在の状況、期待される将来の進展、当社がそれらの状況下で適切と考えるその他の要因に関する当社の経験と知見を踏まえた当社による仮定および分析に基づいています。将来予測に関する記述は業績を保証するものではなく、当社の実際の業績は、将来予測に関する記述において表現、推定、または示唆された事柄と著しく異なる場合があります。

これらの将来予測に関する記述は、本リリースの発行日における事柄を述べたものであり、過度に依存すべきではありません。将来予測に関する記述にはリスクおよび不確実性が伴いますが、それらの多くは予見困難かつ一般的に不可抗力によるものであり、将来予測に関する記述において表現、推定、または示唆された事柄とは著しく異なる実際の結果をもたらす可能性があります。そうしたリスクおよび不確実性の例として、COVID-19/新型コロナウイルスに関する事態が及ぼす影響の範囲および期間に関する不確実性(さらなる製造停止等)、2020 年 10 月 1 日に完了したデルファイ・テクノロジー社の買収から期待される利益の不実現、取得した事業の迅速かつ効果的な統合の不実施、取得した事業に関連する未確認または推測不可能な債務の可能性、AKASOL の買収による期待された利益が実現しないこと、またはそのような利益を実現する能力が遅れること。AKASOL 社の買収で期待された効果が得られないこと、またはその実現が遅れること、AKASOL 社に関する非公開戦略が適時に成功させられないこと、電気自動車の需要予測が困難であること、2030 年までの電気自動車の売上成長率を予測できないこと、ターゲットとなる企業を特定する能力がないこと、などです。2030 年までの電気自動車の売上成長を予測することの難しさ、ターゲットを特定して許容可能な条件で買収を完了させる能力、期待された利益を実現できないこと。買収によって期待される利益を実現できないこと、売却する適切な燃焼系ポートフォリオ事業を特定し、買収した事業を迅速かつ効果的に統合することができないこと、燃焼系ポートフォリオの適切な事業を特定し、計画された売却を受け入れ可能な条件で完了させる能力、買収した事業を迅速かつ効果的に統合することができないこと、買収した事業に関連する未知のまたは見積もれない負債の可能性、自動車および買収した事業を迅速かつ効果的に統合できなかった場合、買収した事業に関連して未知のまたは推定可能な負債が発生する可能性があること、自動車およびトラック製造(いずれも景気に大きく左右される)への当社の依存性、大手 OEM 顧客への当社の依存性、商品の入手可能性および価格、供給停止、金利の変動および外貨の為替レートの変動、与信枠、主要経営陣への当社の依存性、情報システムへの当社の依存性、世界経済環境の不確実性、さまざまな損害賠償に関する訴訟など既存または将来の法的手続きの結果、当社が事業を展開している国における関税など将来の法規制の変更、直近の Form 10-K の第 1A 項「リスク要因 (Risk Factors)」など証券取引委員会に提出する報告書に記載したその他のリスクが挙げられます。当社は、期待事項の変更または記述の根拠となる出来事、条件、状況、仮定の変更を反映するために、本発表文に含まれる将来予測に関する記述のいずれかを更新する、または更新もしくは改訂を公表する義務を負いません。

<報道に関するお問い合わせ>

ボルグワーナー広報事務局 中井、浜辺

TEL: 03-6260-4854

EMAIL: borgwarner-pr@kyodo-pr.co.jp